

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【公開番号】特開2018-183391(P2018-183391A)

【公開日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-045

【出願番号】特願2017-86700(P2017-86700)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月26日(2018.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開始条件が成立したときに可変表示を行い、表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに、第 1 状態と、該第 1 状態よりも有利な第 2 状態とを含むいずれかの状態に制御可能な遊技機であって、

未だ開始条件が成立していない可変表示にに関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、

保留記憶に対応する可変表示より前に行われる可変表示において、当該保留記憶に対応する可変表示の表示結果が前記特定表示結果となることを示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段と、

前記示唆演出とは異なる演出であって、第 1 モード演出と第 2 モード演出とを含むモード演出を実行するモード演出実行手段と、

前記モード演出実行手段により実行されているモード演出を異なるモード演出に変更するモード演出変更手段と、

を備え、

前記モード演出実行手段は、前記第 2 モード演出が実行されているときに前記特定表示結果が導出表示されたときには、前記第 1 モード演出が実行されているときに前記特定表示結果が導出表示されたときよりも高い割合で前記第 2 状態に制御されるようにモード演出を実行し、

前記示唆演出実行手段により前記示唆演出が実行されているときに、実行されているモード演出を前記モード演出変更手段により前記第 2 モード演出から前記第 1 モード演出に変更することを制限する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、

開始条件が成立したとき（例えば、始動入賞が発生したとき）に可変表示を行い、表示結果として特定表示結果（例えば、大当たり図柄）が導出表示されたときに、第１状態（例えば、確変大当たりＢや非確変大当たりの大当たり遊技状態）と、該第１状態よりも有利な第２状態（例えば、確変大当たりＡの大当たり遊技状態）とを含むいずれかの状態に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

未だ開始条件が成立していない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と（例えば、ＣＰＵ１０３が始動入賞処理のＳ１０９及びＳ１１０を実行する部分）、

保留記憶に対応する可変表示より前に行われる可変表示において、当該保留記憶に対応する可変表示の表示結果が前記特定表示結果となることを示唆する示唆演出（例えば、保留表示予告演出）を実行する示唆演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が保留表示予告演出決定処理を実行した後、保留表示更新処理を実行する部分）と、

前記示唆演出とは異なる演出であって、第１モード演出（例えば、背景画像として昼画像を表示する演出）と第２モード演出（例えば、背景画像として夜画像を表示する演出）とを含むモード演出を実行するモード演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が背景画像切替処理を実行する部分）と、

前記モード演出実行手段により実行されているモード演出を異なるモード演出に変更するモード演出変更手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が背景画像切替処理のＳ３０８、Ｓ３１１、Ｓ３１５、Ｓ３１７を実行することで、背景画像を昼画像から夜画像または夜画像から昼画像に切り替える部分）と、

を備え、

前記モード演出実行手段は、前記第２モード演出が実行されているときに前記特定表示結果が導出表示されたときには、前記第１モード演出が実行されているときに前記特定表示結果が導出表示されたときよりも高い割合で前記第２状態に制御されるようにモード演出を実行し（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が背景画像切替処理のＳ３１２～３１８の実行することで、背景画像として夜画像が表示されるとともに、該背景画像が夜画像から昼画像に変化せずに大当たりとなった場合は、確変大当たりＢや非確変大当たりの大当たり遊技よりも高い割合で確変大当たりＡの大当たり遊技状態に制御される部分）、

前記示唆演出実行手段により前記示唆演出が実行されているときに、実行されているモード演出を前記モード演出変更手段により前記第２モード演出から前記第１モード演出に変更することを制限する（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０が背景画像切替処理のＳ３０５やＳ３１６において背景画像として夜画像を表示していると判定した場合、Ｓ３１０ａやＳ３１６ａにおいて保留表示フラグに１または２がセットされているエントリが有ると判定したこと、つまり、保留表示予告演出の実行中であると判定したことにより、Ｓ３１１やＳ３１７において背景画像を夜画像から昼画像に切り替える処理を実行しない部分）ことを特徴としている。

この特徴によれば、示唆演出が実行されているときに第２モード演出から第１モード演出に変更されることによって、遊技者が落胆してしまうことを防止することができる。